

車いすバスケットボール

小三

ぼくは、去年東京パラリンピックで、車いすバスケットボールのし合を見ました。そのし合を見て、とてもびつくりしました。なぜかという、車いすに乗っているのに、上手にシュートを決めていたからです。

そのし合を見る前は、車いすであるに速く動けないと思っていました。前にテレビで見た車いすの人たちは、後ろからおしてもらって動いていたからです。でも、せん手たちは動きが速く、パスも次つぎに回していました、ぼくは、手も足もちゃんとあるけれど

まねできないと思いました。せん手たちは、毎日一生けん命に練習してきたから、ここまで上手にバスケットボールができるのだと思います。

車いすバスケットボールのし合を見て、ど力すれば何でもできるようになると分かりました。しょうがいのある人は、助けられないといけないと思っただけけれど、それはちがいました。自分よりもすごいことができる人がたくさんいるんだと知りました。

ぼくがこれからしようがいのある人に出会ったとき、何でも手つだったり、助けたりするのではなく、きょう力していっしょにがんばりたいです。スポーツもいっしょに楽しみたいです。みんながなかよくくらせる世界になるといいと思います。